

アカデミック・カフェ 2024 in 北見

主催：放送大学北海道学習センター 共催：北見市教育委員会

「故郷を失った文学」 としての日本近代文学

—小林秀雄から村上春樹まで—

**講師：中村 三春 先生**

- ・放送大学北海道学習センター客員教員
- ・北海道大学名誉教授

講演概要

小林秀雄は評論「故郷を失った文学」（1933.5）で、欧米の影響で急激な変貌を続ける東京に生まれた自分には故郷はなく、同じく日本の近代文学は、故郷を失った代償として「世界性」を獲得したと述べました。それから一世紀、まさに世界的な作家となった村上春樹の作品は、日本語で書かれたアメリカ文学だとさえ言われています。故郷とはいったい何なのでしょう。谷崎潤一郎・中原中也・坂口安吾・谷川俊太郎ほか多くの作家・詩人に触れながら、日本文学における故郷喪失の問題を追ってお話をします。

日時：10月26日（土）13:15～14:30**会場：北見芸術文化ホール（多目的室）**

（北見市泉町1丁目3-22）

**定員
30名
参加無料****お申込み
お問合せ**放送大学北海道学習センター
TEL. 011-736-6318（月・祝休）北見市教育委員会生涯学習課
TEL. 0157-33-1839